

## 2025年度 社会福祉法人湖北会事業報告

### 1 総括

令和7年度は、法人の将来像を見つめ直し、持続可能な経営と支援のあり方を模索する重要な転換点となりました。

安定した支援体制の要となる人材確保につきましては、法人ホームページ内への求人専用サイトの新設や、新卒者や第2新卒者をターゲットとした「奨学金返還支援制度」の創設など、採用基盤の強化に注力いたしました。令和8年度からの運用開始に先立ち、京都・滋賀圏域の大学等4校を訪問し、教育機関との関係構築や就職活動の実態把握に努めました。今年度の採用実績としては、新卒採用は叶いませんでしたが、既卒採用3名および有期雇用契約職員から正規職員への登用4名の計7名の人材確保を行っています。また、令和6年度のアソシアに続き、湖北まこもにて青池学園の留学生2名を10月からアルバイトとして受け入れるなど多様な人材の活用も進めました。

一方、障害福祉サービス報酬改定による収益への影響や利用者の高齢化・重度化、人材不足など、法人経営を取り巻く環境は厳しさを増しています。この難局を打破し、次代に即した経営指針を確立するために、今年度は新たに3つの特別委員会（入所施設検討委員会、GH検討委員会、米原通所事業所検討委員会）を設置いたしました。令和8年度秋頃を目途に、湖北会の未来を拓く具体的な経営方針を策定していきます。

現場の支援においては、意思決定支援や発達障害者への専門的支援の充実に重点を置きました。しかしながら、年度内に虐待事案が発生したことは誠に遺憾であり、痛恨の極みです。この事実を厳粛に受け止め、経営方針である「その人らしく、地域で働きたい、暮らしたい、楽しみたいを応援します」という原点に立ち返り、安全・安心な支援体制の再構築に全力を注いで参ります。

施設整備に関しては、旧「ほっふる」建物の解体工事を株式会社吉勝重建との契約に基づき計画通り完遂いたしました。12月25日には長浜市への引き渡しを滞りなく完了しました。

### 2 法人経営

法人の経営方針『その人らしく、地域で働きたい、暮らしたい、楽しみたいを応援します』を実現するために、次のとおり基本項目を定め、各種事業を実施しました。

#### 《基本項目》

#### (1) 利用者の人権尊重を最優先します。《人権尊重》

湖北まこもで発生した虐待事案に対し、当該職員への厳正な指導を行うとともに、行政に提出した「虐待防止改善計画」に基づき、組織的な再発防止策を講じました。

#### (2) 利用者主体のサービスを提供します。《利用者主体のサービス提供》

各事業所で意思決定支援に関する取り組みを進め、2月に法人内で報告会を開催し、共有しました。

#### (3) 常に信頼される存在となることを目指します。《信頼性の確保》

コンプライアンス（法令等順守）体制の構築や教育の徹底、ガバナンスの強化を図るため、各事業所の運営状況や課題把握に努めました。

#### (4) 専門的役割と使命を自覚し、それに即した研修を実施します。《職員の資質・専門性の向上》

年間研修計画に基づき、階層別・専門別の育成を推進しました。

#### (5) 情報公開に努め、施設経営の透明性を堅持します。《施設経営の透明性の堅持》

法人広報誌「こほくかい」（春号・秋号・新春号）を通じ、予算・決算および事業計画・報告等を広く公開しました。

#### (6) 地域社会の一員として、地域福祉を推進します。《地域福祉の推進》

今年度から義務化された地域連携推進会議を入所施設（湖北まこも）・グループホームで開催し、地域社会との接点を強化しました。

県の障害福祉サービス事業所専門人材育成推進事業の委託による強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を10月に開催しました。同じく委託事業の専門別研修として、12月に自閉症支援者養成研修・ワークショップ2Daysを開催し、地域の専門人材育成に寄与しました。

#### （7）重点事業

##### ① 虐待防止・権利擁護の徹底

法人内で発生した虐待事案を教訓として課題を共有し、各事業所における虐待防止の取り組みを推進しました。あわせて、他法人での事案や研修情報を全事業所で共有し、各現場で具体的に検討・活用するよう働きかけを行いました。

##### ② 相互尊重による職場環境の構築とハラスメント予防

ハラスメント窓口を対象とした研修を実施し、相談対応スキルの向上や各職場での早期発見・早期対応に向けた体制づくりを行いました。

##### ③ 組織力強化とICT・DXの推進

ICT・DX展への参加や他法人のICT導入事例等の情報収集に努めました。

##### ④ 求人活動と人材確保

法人公式サイト内に、リクルート専用サイトを新設・公開しました。

新卒者・第2新卒者の採用・定着を目的とした奨学金返済支援制度を創設し、2026年度より運用を開始としました。

##### ⑤ 施設整備改修等

旧ほっふる建屋の解体を9月から解体工事開始、12月に解体完了し、12月25日に長浜市に引き渡しを終えました。（業者・株式会社吉勝重建）

### 3 法人運営

適正な法人運営と社会福祉事業の健全な経営の確保を図ることを目的に下記の組織ならびに委員会を設置するとともに会議を開催します。

#### （1）理事会

5月：事業報告、決算報告      9月：臨時理事会      11月：上半期事業報告、決算報告  
3月：次年度事業計画、予算審査

#### （2）評議員

6月：事業報告、決算審査      11月：上半期事業報告、決算審査  
3月：次年度事業計画、予算審査

#### （3）監事監査等

4-5月、10-11月に実施。理事会、評議員会で報告していただきました。

#### （4）第三者委員会

7月と2月に開催。苦情1件、虐待事案2件の報告を行いました。

#### （5）常設委員会

##### ① 虐待防止委員会

4月28日、7月15日、10月10日、11月12日、12月18日、3月16日開催  
満足度調査結果から各事業所における課題の選定と改善に向けて取り組んでいます。  
虐待防止振り返りチェック表の見直しを行っています。

##### ② 身体拘束廃止委員会

9月と3月に開催。各事業所の身体拘束実施状況を確認、およびカンファレンスを実施し、

意見交換を通して、現状の分析と課題の共有を行いました。(実施 13 件)

③ 人材確保委員会

就職フェアへの参加、転職サイト、人材紹介会社の利用により人材確保に努めました。

④ 人材育成委員会

下記の研修を実施しました。

5月：新任研修（3日間）、6月：ハラスメント窓口研修、7-8月：救命救急講習（2回）

8-10月：2～5年目職員フォローアップ研修、11月法人内人権研修、2月実践報告会  
（テーマ：意思決定支援）

育成班：各階層の役割・業務等の整理をし、キャリアパス制度の見直し検討を進めました。

⑤ 災害対策委員会

9月1日の防災の日に合わせて、各事業所の備蓄品の点検を実施しました。

各事業所にてeラーニング（サポカレ）を実施。能登半島地震の被災状況に関する報告動画を視聴し、今後優先すべき備蓄や初動対応などの必要な備えについて周知・検証を行いました。

⑥ 個人情報管理委員会

HPや広報誌等に掲載する画像・動画について、全利用者・職員に同意確認を行いました。

⑦ 広報委員会

法人広報誌 春号・秋号・新春号を発行しました。

リクルートサイトを開設しました。（8月～）

⑧ コンプライアンス委員会

湖北まこもでの虐待事案等を確認し、虐待防止センターへの通報の指示を行いました。

苦情を超えたカスタマーハラスメントに該当すると思われる事案に対して、顧問弁護士に相談しながら対応を進めました。

(6) 各種会議

① 経営者会議（週1回開催）

② 管理者会議（月1回開催）

③ サービス管理責任者会議（身体拘束廃止委員会を兼ねる）（9月8日、3月9日）

4 各事業の実施状況

(1) 施設入所支援

利用者一人ひとりの望む暮らしを理解できるよう、分かりやすい情報提供と様々な体験機会の提供を通して、意思形成や意思表出の支援に取り組みました。

また、衛生的な環境や穏やかに暮らしやすい居住空間が提供できるよう環境整備を行いました。

(2) 生活介護

日中活動の充実に向けて、利用者の要望やニーズに応じた余暇活動や軽作業等の提供を行い、過ごしやすい環境づくりと、一人ひとりが楽しみややりがいを持てるような支援に努めました。

また、障害特性への理解を深め、一人ひとりに応じた支援の実践に取り組むとともに、各種研修受講、事業所内OJT、外部コンサルテーション等を活用し、専門性及び人権意識の向上を図りました。

(3) 就労継続支援B型

利用者それぞれの状況（障害特性や体調、体力）に応じた柔軟な働き方を提供するために、面談や日常生活の行動観察によるアセスメントを行い、安心して作業に取り組めるように支援を行いました。また、本人・家族、関係機関と相談し、本人の状態により良い適した場所・環境への

移行も進めました。

企業への就職に向けて、関係機関と連携し、企業見学・実習機会等の提供、取り組みを行い、結果、就労継続支援A型事業所へ1名、企業就労へ2名の方の移行を行いました。

自主製品については、地域イベントに積極的に参加し、地域交流を図るとともに、販売促進に努めました。

#### (4) 放課後等デイサービス

利用児ごとに相談や教育機関、利用事業所、専門的アドバイザーとの連携を図り、利用児の発達年齢と障害特性の理解、生活背景の把握に努め、「健康・生活」「運動・感覚」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」「認知・行動」の5領域を意識したプログラムに取り組みました。

#### (5) 居宅介護

住み慣れた自宅や地域での暮らしが続くよう、安定してサービス提供できる体制、および多種多様なニーズに応じるため支援技術の習得に努めました。

#### (6) 短期入所

地域で安心した生活が継続できるよう、湖北まこも・あそしあ・のぞみの各事業所にて、可能な限りの受入れに努めました。

	湖北まこも	あそしあ	はまべ
実利用者数(人)	174	237	67
年間延利用数 (月平均)	1,034 (86.2)	687 (57.3)	175 (14.6)

#### (7) 日中一時支援

しょうがいのある方ならびにその家族の地域における生活を支援するため、実施事業所の特徴と工夫により、可能な限り利用希望に対応しています。

	湖北まこも	あそしあ	ライフまいばら	いぶきやま	ふくらの森	ゆるり	やまぶき
実利用者数(人)	56	108	12	9	59	39	64
年間延利用数 (月平均)	217 (18.1)	731 (60.9)	37 (3.1)	9 (0.8)	790 (65.8)	415 (34.6)	234 (19.5)

#### (8) 共同生活援助

安定した支援体制を図り、利用者の笑顔につながる生活環境を意識しています。一方で、利用者の高齢化等により転倒や入院が多くなっており、緊急な事故に対応するとともに、利用者の将来を見据えて関係機関との連携に努めました。

#### (9) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援

相談者や家族が抱える悩み・課題の解決にアプローチするため、フォーマルサービス等利用計画の作成だけにとらわれず、あらゆる地域資源の活用も視野に入れ、細かく丁寧な調整に努めました。委託費の削減があり、運営面の見直しが必要となりました。

#### (10) 就労定着支援

定期的に職場訪問を実施して、仕事・生活面での課題を把握し、課題解決に向けて企業や関係機関と連携して、助言等の支援を行いました。

#### (11) 受託事業

「相談処すだち」、「はたらき・くらし応援センターこほく」に拠点をおき、地域に向けて各々の事業目的に沿った相談支援等を行いました。

# 湖北まこも

施設入所支援、生活介護、短期入所

## <虐待事案>

事案 1, 7/28 利用者の顔付近に飛んでいた虫を職員が払い除ける時、誤って利用者の顔も叩いてしまうという事案が発生した。  
 事案 2, 8/9 利用者が、水を飲むため何度も支援員室の中に入ろうとされ、その都度止めていた。何度も止めているうちに職員もイライラして思わず顔を叩いてしまうという事案が発生した。  
 事案 1 は、落ち着いて冷静対応していれば十分防げる事案です。  
 事案 2 は、一人の職員に任せず、職員の精神状態にも気遣いながら複数の職員で声を掛け合い、チームで支援を行っていれば防げた事案と考えられます。  
 今後は、虐待防止の研修だけでなく、話せる勇気が持てる職場環境を作っていきます。  
 事案 3, 11/28 利用者に対する不適切な発言による心理的虐待がありました。  
 事案3については、利用者の心を傷つける行為なので、普段から、適切な言葉を使い心がける必要があります。丁寧な支援を行います。

## <重大アクシデント>

3/19 (木) 利用者が亡くなるというアクシデントがあった。  
 利用者は、起床時は特に変わらず生活を送っておられたが、午前中、ほっふるの作業時間より体調の不良を訴えられる。その為、午後より生活棟に戻り静養してもらうが、次第に体調が悪化し、救急要請で病院に搬送する。搬送後、6時間あまりで死去される。死因は、誤嚥性肺炎と診断される。

4/20 (月) に家族と亡くなった当日の経緯を説明する。現在も話し合い継続中。

## <事業報告>

今年度は、①根拠のある支援 ②意思決定支援の更に実効性のある取組み、の2点を支援の中心に据えることを目標としました。

①根拠のある支援では、全ての利用者の障害特性に応じたかかわり方や取組みをもう一度じっくり見直し、なぜその支援(取組)なのか従来の考え方に固執せず、意見を聞く機会をつくり、新しい発想や取組など取り入れられるように進めました。

②意思決定支援の更に実効性のある取組では、まずは第一段階として、意思決定支援の基本を全職員で学び、日常生活のあらゆる場面で、利用者の意思形成と意思表示の支援を意識できるようにこころがけました。

以上の2点を進めるにあたり、今後も可能な限り積極的に外部研修に参加し、質の高い支援を目指すため専門性の向上に努めます。

定員	定員	3/31 時点の契約者数		
		(男)	(女)	計
施設入所支援	50	25	23	48
		5月	女性利用者1名契約解除 (介護施設へ移行)	
		7月	男性利用者1名契約解除 (逝去)	
		11月	男性長期短期入所者 1名 入所	
		3月	女性利用者1名契約解除 (逝去)	
施設入所者日中活動内訳	まこも本体	13	16	29
	まこも別館	3	3	6
	施設外通所	9	4	13

	定員	3/31 時点の契約者数		
		(男)	(女)	計
生活介護	60	36	27	63
生活介護内訳		5月	女性利用者1名契約解除 (介護施設へ移行)	
		6月	男性利用者1名新規契約	
		7月	男性利用者1名契約解除 (逝去)	
		11月	男性利用者1名新規契約	
		3月	女性利用者1名契約解除 (逝去)	
	まこも本体	14	19	33
	施設入所	13	16	29
	地域 (在宅)	1	3	4
施設外通所	9	4	13	
まこも別館	14	3	17	
まこも	3	3	6	
あそしあ	7	0	7	
地域 (在宅)	4	0	4	

#### 開所日、サービス提供時間

計画のとおり実施

- ・家族会主催食事会(9/13) ・夏祭り(8/9)
- ・小グループによる日帰り旅行(5月～3月) ・利用者忘年会(12/10)

#### 職員会議等

職員研修	虐待研修…月1回(職員会議) 7/23…意思決定支援 外部研修…随時 BCP研修 (3回連続)	防災訓練	7/30…地震想定 10/29…通報・避難訓練 3/25…夜間避難・消化訓練
職員会議	男女東西棟ケース会議・男女棟会議 日中活動班・ほっぷるケース会議 ほっぷる・全体会議…月1回	健康診断 (職員)	7/11 1/16

#### アクシデント関連

交通事故等		入院・怪我		服薬		送迎忘れ		その他	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
0	1	3	3	3	4	1	0	3	3

車両事故 ・切り株に1トン車のバンパーを当て破損させる。(10/25)

- 怪我 ・椅子から転倒され3針縫う(5/28)  
 ・入浴中に転倒され6針縫う(8/31)  
 ・転倒にて裂傷される。3針縫う。(11/20)  
 ・利用者同士の鉢合わせにて怪我を負う。(1/15)

- 入院 ・利用者が胸膜炎で入院される。(6/11) ➡7/27 死去  
 ・利用者が胸膜炎で入院される。(3/20)

- 服薬 ・朝食後の服薬忘れ(4/4)  
 ・夕食後に朝食後の薬を服薬してしまう(4/23)  
 ・眠前服薬後、コップに飲みさしの薬が残っていた(6/2)  
 ・下剤の抜き忘れで、服用する。(10/17)

- ・短期利用者の薬の飲み忘れ（11/16）
- ・薬を重複して飲んでしまう。（3/5）
- ・他の利用者の点眼薬を点してしまう。（3/20）
- 送迎忘れ ・職員の確認不足による（4/30）
- その他 ・利用者が金属製のネジを飲み込んでしまう（6/14）
- ・利用者に左目を叩かれ労災申請（7/21）
- ・夜勤中公用のパソコンと自身の携帯電話で賭け事をしていた（8/23）
- ・利用者さんが道路に出てしまい住民から危ないのではないかと注意される。（10/26）
- ・利用者がエアコンを破損される。（11/22）
- ・利用者がパソコンを床に投げられる。（11/27）

その他（建物改修、設備・備品購入等）

- ・ 2階女性西棟トイレ、電気配線等改修工事（4月）
- ・ 扉、建具、鍵等修繕（5月）
- ・ 2階女性西棟洗面所等パネル設置工事（5月）
- ・ 公益財団法人河本文教福祉振興会（シエンタ車両寄贈）（6月）
- ・ 2階女性西棟余呉通りパネル設置工事（12月）
- ・ 日中棟トイレ、2階トイレ電気配線等改修工事（1月）
- ・ 利用者居室のエアコン設置工事（2月）
- ・ ほっぷる利用者居室のドア受け修理工事（3月）

## あそしあ

施設入所支援、生活介護、短期入所

### <事業報告>

今年度、PECSを中心とした発達障害者への支援についてコンサルを年3回行います。さらに月1～2回のペースでPECSのセッションを4名の利用者を対象に発達障害支援ケアマネージャーのすだち川崙氏に指導を受け、専門的支援を学んでいます。その事で、施設に外部の目を入れる機会としていきます。

支援職として組織の中での共通認識が高められるよう、毎月の職員会議において、グループワークを中心とした職場内研修を行っています。特に虐待防止に関する事は、多方面からアプローチし、支援の向上を図っています。

また、意思決定支援に関しては、各利用者に対して分かりやすい情報提供の必要性に注目し、利用者の選択機会、自己決定できる支援を心がけるようにしています。

その実現の為に、利用者を知る事の重要性を学び、個人に合った支援の実践を取り組み始めています。その事で、権利擁護意識を高め、職員それぞれが支援者として成長していけるよう学びや実践を深めていきたいと思えます。

去年4月より受け入れを開始した留学生は週28時間以内でアルバイトをしてもらっています。日本語理解もかなり上達しており、コミュニケーションを日本語で取る場面・時間も増えてきました。また、意欲的に働かれています。

定員	3/31 時点の契約者数			
	定員	(男)	(女)	計
施設入所支援	40	26	13	39
	6月 女性利用者	入所契約（生活介護利用のみ→入所）		
	12月 女性利用者	入所契約解除（敦賀医療センターへ入所入院）		
生活介護	40	31	16	47

開所日、サービス提供時間

計画のとおり実施

職員会議等

職員研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止研修（不適切な関わり等）</li> <li>・意思決定支援</li> </ul>	防災訓練	1月23日 3月24日
職員会議等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議：毎月1回</li> <li>・虐待防止小委員会 …3カ月に1回</li> <li>・感染症対策(保健)員会 …4カ月に1回</li> <li>・身体拘束適正化会議：随時</li> <li>・業務改善等会議：9月に2回</li> <li>・男女棟会議／日中会議：毎月1回</li> <li>・調整(幹部)会議：毎月1回</li> </ul>	健康診断 (職員)	7月8日 1月29日

アクシデント関連

交通事故等		入院・怪我		服 薬		送迎忘れ		その他	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
3	2	0	1	2	0	0	1	0	1

- 事故等 ・朝送迎時、自宅付近で切り替えした際、ブロック塀にぶつける（4/1）  
 ・敷地内作業棟横でバック駐車する際、天井にぶつける（4/15）  
 ・納品時（金山クリーニング）駐車場に駐車する際、隣の民家自家用車にこすり当てる（9/25）  
 ・夕送迎時、郵便局へ郵便物を投函した後、バックで駐車場から出ようとした際、道路に信号待ちしていた自動車に当ててしまう（2/2）  
 ・ドライブ中に対向車をよけようとしてハンドルを左に切り過ぎた為に、ポールにサイドミラーを当ててしまう（2/22）
- 入院 ・インフルエンザ集団感染の為、居室変更して頂いていたが、その部屋で転倒される。外傷等は無かったが、翌日歩けなかったので、通院すると大腿骨骨折の為、手術・入院となる。（12/17）
- 服薬 ・短期入所利用者の服薬間違い（他短期入所者へ誤訳（5/23）  
 ・短期入所利用者の重複服薬（夕食後薬2日分を1度に服薬（7/30）
- 送迎忘れ ・普段は通所日ではなかったが、インフルエンザ予防接種の為通所となっていた。出発時確認不足の為、迎えに行かなかった。家族から連絡が入る（10/24）
- その他 ・インフルエンザ集団感染となる（終息まで12月前半～年末の約3週間）

その他（建物改修、設備・備品購入等）

- ・次亜塩素ナトリウム水で水拭き掃除できる掃除機を購入（7月）
- ・主任用PC及びデイルーム用PC 2台購入（8月）

# ワークスさかた

就労継続支援B型

## <事業報告>

利用者一人ひとりの状況や状態に応じた柔軟な働き方を提供するため、面談やアセスメントを実施し、関係機関とも連携しながら、安心して作業に取り組める環境づくりに努めました。また、本人の意向や状況に応じて、他法人の就労継続支援A型やB型への移行支援も行いました。

企業就労を目指す利用者に対しては、関係機関と連携し、企業実習の調整・実施、企業説明会・面接会への参加支援など、就職に向けた取り組みを進めました。上期は1名が面接試験を受験しましたが就職には至らず、下期には1名が就職されました。

自主事業については、個人販売・地域サロン販売に加え、今年度は国スポ・障スポ会場へも出店し、地域との交流を深めながら販路拡大に取り組みました。

定員	定員	3/31 時点の契約者数		
		(男)	(女)	計
就労継続支援B型	40	28	9	37

7月 女性利用者1名 契約解除

9月 女性利用者1名 契約

9月 女性利用者1名、男性利用者1名 契約解除

3月 女性利用者1名 契約解除

## 開所日、サービス提供時間

計画のとおり実施

## 職員会議等

職員研修	事業所内研修 隔月 他 外部研修への参加	防災・避難訓練	火災想定 8月29日 火災・水害想定 3月5日
職員会議	おしごと会議 (毎月1回) 職員会議 (毎月1回)	健康診断 (職員)	7月25日 (7月3、7、8、14、29日)

## アクシデント関連

交通事故等		入院・怪我		服薬		送迎忘れ		その他	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

- ・7/10 利用者が送迎車の助手席からの降車時に、自身でドアを閉められた際に右手小指を挟む。通院・診察、骨には異常はなかったが、右手小指の第一第二関節間に裂傷があり

## その他 (建物改修、設備・備品購入等)

- ・火災通報装置取替 (6月)
- ・作業部屋空調機器 エアコンの更新 (8月)
- ・業務用冷蔵冷凍庫、食器消毒保管庫の買替 (10月) … ダイトロン福祉財団助成
- ・車両更新 新車1台 (11月)

# ライフまいばら

生活介護

## <事業報告>

○利用者ひとりひとりの障害特性に応じた過ごしやすい環境が構築できるように、ケース担当を中心に、ケース会議などで検討し実施した。3カ月に1回程度の頻度で、事例検討会を行い支援の質の向上をおこなった。  
 ○複数の余暇活動・行事などを提供し、利用者が楽しめるように、講師に相談したり、アドバイスをもらいながら実施した。11月21日にご家族の協力のもと日帰り旅行を実施した。  
 ○外部の専門家のコンサルティングを導入し、支援のアドバイスや指摘を受け、支援の質の向上を行った。4月・8月・3月に虐待防止研修、5月・3月に身体拘束廃止研修を行い、虐待防止、人権意識の向上を図った。

定員	3/31 時点の契約者数			
	定員	(男)	(女)	計
生活介護	40	29	9	38

10月 男性利用者1名 契約解除

## 開所日、サービス提供時間

計画のとおり実施

## 職員会議等

職員研修	4月22日・8月26日・3月24日 虐待防止研修 5月27日・3月24日 身体拘束廃止研修	防災訓練	7月22日、3月10日
職員会議	毎月第4火曜日 ケース会議毎月第2・3火曜日	健康診断 (職員)	7月29日

## アクシデント関連

交通事故等		入院・怪我		服薬		送迎忘れ		その他	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	0	0	0	0	0	4	0	0	0

### 交通事故等

6月11日 朝の送迎時に、運転操作を誤り、利用者宅エクステリアに接触する。

### 送迎忘れ

4月10日 夕方送迎で、誤って自宅に送らず日中一時支援をする。

6月6日 夕方の送迎で、誤ってあそしあに送迎をする。

7月9日 夕方の送迎で、目視での乗車確認ができておらず、送迎車に乗せ忘れる。

8月13日 朝の送迎で、送迎チェック表に記載ができておらず利用者迎えができず。

### その他（建物改修、設備・備品購入等）

- ・別館作業室エアコン取替工事（1月）
- ・ガス給湯器交換工事（3月）

# いぶきやま

生活介護、就労継続支援B型

## <事業報告>

### ○生活介護

新任職員および異動職員に対してOJTを実施するとともに、メンター・メンティ研修を通じて、職員が定着しやすい職場環境の整備に努めました。さらに、約2ヶ月に一度のコンサルテーションを実施し、評価キットを活用したアセスメントの学習機会を設けることで、支援者の支援スキル向上を図りました。

### ○就労継続支援B型

作業単価の上昇に伴い、工賃の向上が見られました。TTAPによるアセスメント結果を基に、ご利用者の特性に応じた支援を行ったことで、作業スキル・コミュニケーションスキル・生活スキル（清掃スキル）の向上が確認され、QOLの向上にもつながりました。また、研修会にて実践報告を行い、地域に当事業所の取組を知っていただく機会となりました。

定員	3/31 時点の契約者数			
	定員	(男)	(女)	計
生活介護	20	12	7	19
4月11日 女性利用者1名 契約解除（ご逝去）				
1月30日 女性利用者1名 契約解除				
就労継続支援B型	20	12	11	23
3月31日 女性利用者1名 契約解除				

## 開所日、サービス提供時間

計画のとおり実施

## 職員会議等

職員研修	外部研修 内部研修（サボカレ活用）	防災訓練	6月16日（地震、火災想定） 9月30日（土砂災害想定）
職員会議	月1回以上実施	健康診断 （職員）	7月24日

## アクシデント関連

交通事故等		入院・怪我		服薬		送迎忘れ		その他	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	2	3	1	0	0	2	1	0	0

### 交通事故等

- (7月2日) 外勤への移動時、電柱にサイドミラー接触
- (1月5日) 内輪差を意識せず、縁石に接触
- (2月6日) ダンプからの飛び石でフロントガラスが傷つく

### 入院・怪我

- (6月10日) 折り畳み式の長椅子に着席中、椅子が誤って畳まれ、指を挟む事故。
- (9月4日) 車両のハッチバックを閉める際、本人の頭部とハッチバックが接触する。
- (9月15日) 歩行中に転倒し、右鎖骨部を骨折する。
- (3月10日) 転倒に伴う通院 結果異常無し

送迎忘れ

(5月5日)短期入所先に送迎忘れ

(5月6日)当日の送迎割振り表ができておらず出発が遅れる。

(2月17日)通所予定がボードに記載されておらず、家からの電話で気づく

その他（建物改修、設備・備品購入等）

・14人乗りハイエースの買替（12月）

# ふくらの森

生活介護

## <事業報告>

職員個々の経験に応じた各種研修受講や巡回相談（コンサル）と評価キットを使ったアセスメントを活用しながらチームでの利用者支援をすすめました。職員個々の強み（長所）を活かし、弱みはチームで補うことでチーム力と支援力の向上を図りました。意志決定支援と虐待防止と権利擁護の視点を持ち続けられるよう研修受講や資料や書籍等の回覧を通しての学びと外出や絵や書道などの創作活動において選択肢や本人の希望を引き出し尊重するよ関わり方を意識し工夫しました。

定員	3/31 時点の契約者数			
	定員	(男)	(女)	計
生活介護	40	26	19	45

10月 女性利用者1名 契約解除

3月 女性利用者1名 契約

## 開所日、サービス提供時間

計画のとおり実施

## 職員会議等

職員研修	虐待防止 災害対策 (BCP) 外部研修	防災訓練	7月11日 (火災想定) 3月11日 (地震想定) 3月18日 (洪水想定)
職員会議	月1回	健康診断 (職員)	7月17日

## アクシデント関連

交通事故等		入院・怪我		服薬		送迎忘れ		その他	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
0	1	1	1	0	0	0	0	1	0

(事故) 11/28 ふくらの駐車場で後退で駐車時に擁壁にバンパーを接触 (修理なし)

(怪我) 5/9 女性利用者 (65歳) が玄関 (屋外) で転倒し目の周辺・掌・膝を擦りむき通院→消毒と破傷風ワクチンの処置。

3/18 女性利用者 (65歳) が非難訓練中に駐車場の窪みで転倒し額・掌・膝を擦りむき通院→消毒の処置。

(その他) 6/23 職員が玄関を出る際に水筒をガラス戸 (自動ドア) にぶつけガラスが割れる (人的被害なし)

## その他 (建物改修、設備・備品購入等)

・10人乗りハイエースの買替 (12月)

# ワークスさぼてん

就労継続支援B型、就労定着支援

## <事業報告>

利用者のそれぞれの状況や希望に添えるように面談や関係機関と連携し1名の方が介護サービスへ移行された。また、一般就労を希望されている方は企業見学や企業実習に挑戦され1名の方が雇用に繋がった。

自主事業については、積極的に地域のイベントにも参加し、10月には国スポ障スポのイベント参加した。

定員	3/31 時点の契約者数			
	定員	(男)	(女)	計
就労継続支援B型	40	25	16	41
		5月	男性利用者1名契約解除	
		12月	男性利用者1名契約解除 (ご逝去)	
		3月	女性利用者1名契約解除	
		3月	男性利用者1名契約	
就労定着支援		2	2	4
		9月	女性利用者1名契約	
		9月	男性利用者1名契約解除	
		1月	男性利用者1名契約	
		2月	女性利用者1名契約解除	

## 開所日、サービス提供時間

計画のとおり実施

## 職員会議等

職員研修	外部研修 7月17日 防災研修	防災訓練	9月25日 2月26日
職員会議	月1回	健康診断 (職員)	7月7日 7月3日

## アクシデント関連

交通事故等		入院・怪我		服薬		送迎忘れ		その他
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
0	1	0	0	0	0	0	1	0

<交通事故> 2/26 午前9時頃 グループホームきらりて利用者に乗せ本線に出るときに左右の確認不足から左方から走行してきた車両と接触事故を起こす

<送迎忘れ> 3/11 勤務表で送迎を指示していたが送迎業務を忘れていた

## その他 (建物改修、設備・備品購入等)

・なし

# ゆるり

生活介護

## <事業報告>

創作活動においては、音楽活動及びアート活動に関する目標を明確に設定し、利用者が当該目標に向けて主体的に取り組めるよう支援を行った。作業活動においては、ワボウ電子様から新たに部品作業をいただいたことにより、多くの利用者にとって達成感ややりがいを得られる機会の拡充につながった。  
また、外部コンサルテーションの導入に加え、職員一人ひとりの経験及び専門性に応じた研修受講を推進した結果、事業所全体における支援の質の向上を図ることができた。

定員	3/31 時点の契約者数			
	定員	(男)	(女)	計
生活介護	40	34	11	45

10月 男性利用者 1名 契約解除  
3月 男性利用者 3名 契約

開所日、サービス提供時間  
計画のとおり実施

## 職員会議等

職員研修	虐待防止・災害対策 外部研修	防災訓練	11月26日 (火災避難訓練) 3月26日 (災害避難訓練)
職員会議	月2回	健康診断 (職員)	7月3日

## アクシデント関連

交通事故等		入院・怪我		服薬		送迎忘れ		その他	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
0	0	0	1	0	0	0	1	1	0

### 送迎忘れ

- ・送迎出欠ボードの記載ミス（出席が欠席の記載）で送迎忘れとなった。（11月）

### 怪我

- ・缶潰し作業中機械が劣化で壊れ鼻に当り少量の鼻血と鼻頭が赤くなる。日赤救急受診し、骨折はなく様子観察となった。（10月）

### その他

- ・公用車に傷 朝送迎出発前点検で、車両に傷が見つかる。（4月）  
故意に付けられたものと見て、警察に通報し被害届けを提出する。  
センサーライト・防犯カメラで対策を打った。以降事故無し。

## その他（建物改修、設備・備品購入等）

- ・8月後半にエアコンの不具合が見つかり、9月修理工事実施
- ・12月車両整備（14人乗りニッサンキャラバン）

<事業報告>

定期で小グループ会議を実施し、利用者一人ひとりに応じた適切な支援内容について検討を行い、障害特性に配慮したレイアウトの見直し及び環境整備を推進することができ、日課の充実に寄与した。また、県の巡回相談により、職員の専門性の向上が図られ、利用者支援の一層の充実につながった。  
 新任職員に対しては、OJTに加え、サポカレ等を活用した段階的な研修を実施し、支援力の向上を図った。  
 さらに、新たな取り組みとして、地域で活動する音楽療法士による音楽療法を毎月実施し、利用者の活動機会の充実に図った。

定員	3/31 時点の契約者数			
	定員	(男)	(女)	計
生活介護	40	21	15	36

4月 男性利用者 1名 契約解除  
 7月 女性利用者 1名 契約解除

開所日、サービス提供時間  
 計画のとおり実施

職員会議等

職員研修	虐待防止 災害対策(BCP) 外部研修	防災訓練	10月16日(避難訓練) 3月12日(避難訓練)
職員会議	月2回	健康診断 (職員)	7月22日

アクシデント関連

交通事故等		入院・怪我		服薬		送迎忘れ		その他	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
0	0	2	0	0	0	0	0	1	2

怪我

4月4日 利用者と職員が接触し、職員が負傷。  
 7月21日 利用者が転倒、頭部打撲通院する。

その他

9月5日 利用者が行方不明、1時間後に見つかる。  
 11月7日 利用者が行方不明、4時間後に本人からの連絡で居場所が分る。

その他(建物改修、設備・備品購入等)

・車両更新 新車1台(ハイエース)

## あ〜と

居宅介護・放課後等デイサービス

### <事業報告>

居宅介護は、安定したサービス提供ができる体制づくりに努め、利用者の状況の変化や依頼に基づき、若干増のサービス提供ができた。  
放デイは、定員を超える利用をして頂き、卒業される3名は進路先へ支援の引継ぎを行うとともに、新一年生を含め4名の新規受け入れを調整した。  
ケースを通じて精神科医師 門先生のコンサルテーションを受けるとともに、認証ケアマネを含め各ケースに携わる専門機関との連携をもつこと、また職員個々に応じた研修にて研鑽し質の向上に努めた。

契約者数	3/31 時点の契約者数		
	男	女	計
居宅介護	36	41	77
行動援護	29	9	38
移動支援	44	43	87
放課後等デイ（定員10名）	16	10	26

開所日、サービス提供時間  
計画のとおり実施

### 職員会議等

職員研修	所内全体研修 (コンサル2回、支援者マナー等) 外部研修(各職員2回以上)	防災訓練	6月16日 災害想定研修 1月23日 避難訓練 3月24日 避難訓練(地震)
職員会議	全体会議(月1回) 各事業別会議(月1~2回)	健康診断 (職員)	7月14日 全職員対象 1月29日 居宅従事者のみ

### アクシデント関連

交通事故等	入院・怪我	服薬	送迎忘れ	その他
1	0	0	0	2

- ・外出支援中、店舗駐車場の支柱に接触。人身けが無し。
- ・11月続けて2回、行動援護の利用児童が敷地外に走って飛び出し一時見失う。

### その他（建物改修、設備・備品購入等）

- ・福祉有償運送軽自動車1台買替え
- ・あ〜と裏庭への通路2か所に門扉を設置

# すだち

相談支援事業

## <事業報告>

契約者と定期的な面談等を行い、状況や状態の変化に応じてサービス調整を行っている。

相談委託費額の見直しを受けて、効率化を含めた業務の見直し、および今後の展開について圏域の動向も見ながら検討を始めており、令和8年度に継続する。

自立支援協議会に参加するとともに、主任相談支援専門員は基幹相談支援センターと連携し、圏域内の相談事業所に対する訪問等による専門的な指導及び助言、相談支援専門員等の人材育成の支援業務に参画した。

認証ケアマネは、学校や福祉事業所等へのコンサルテーションを行うとともに、専門的人材の育成を目的に圏域を対象とした研修会を開催した。

定員	3/31 時点の契約者数		
	定員	契約者数	
相談支援事業	—	251	
児童相談支援事業	—	6	
一般相談	—	20	
認証ケアマネ	—	73	

## 開所日、開所時間

計画のとおり実施

## 職員会議等

職員研修	外部研修 随時	防災訓練	6月16日 災害想定研修 1月23日 避難訓練 3月24日 避難訓練(地震)
職員会議	毎月4日に会議 毎水曜にミーティング	健康診断 (職員)	7月14日

## アクシデント関連

交通事故等	その他
0	0

## その他（建物改修、設備・備品購入等）

・なし

## はまべ

共同生活援助（グループホーム）介護サービス包括型）、短期入所

### <事業報告>

・余暇の取り組みでは、日頃から運動する機会が少ない為、スポーツイベント参加した。プラネタリウムと琵琶湖博物館で行きたい方を選んでもらって10月に外出を実施した。他ホーム利用者との交流も図れ楽しめた。  
 ・入院された方が多くおられたが、ホーム全体で支援の共有を図り、入院対応に取り組めた。  
 ・今年度から義務化になる地域連携推進会議を、関係機関、利用者、家族等と連絡調整し開催した。（10月）  
 各GH見学も実施した。（12月）

定員	3/31 時点の契約者数			
	定員	(男)	(女)	計
共同生活援助	54	33	19	52

6月 男性利用者1名契約解除

### 開所日、サービス提供時間

計画のとおり実施

### 職員会議等

職員研修	外部研修 動画等研修	防災訓練	はまべ 10/12・3/15 グーフィー 12/21・2/28 おうみ 10/12・2/15 加田 8/27・2/14 いぶき 2/20・3/16 浅井 10/23・2/27 きらり 10/12・3/15 のぞみ 11/18・2/23
職員会議	月1回（支援者会議） 随時（各ホーム会議）	健康診断 （職員）	7/14 1/29（夜間）

### アクシデント関連

交通事故等	入院・怪我	服薬	その他
1	11	2	1

#### 交通事故

(10/9) 長浜赤十字病院の立体駐車場でバック中、柱に気づかず接触する

#### 入院・怪我

- (4/24) 全身痙攣があり救急対応、入院となる。
- (4/15) 口腔内炎症、治療の為入院（3回）
- (5/24) トイレ移動中転倒、受診され背骨の圧迫骨折と診断される。
- (7/20) 階段踊り場で転倒骨折の為、入院治療
- (8/12) 廊下で転倒骨折の為、入院治療
- (9/11) 蜂窩織炎の為、入院治療
- (9/17) 歩行中に転倒し、右鎖骨部を骨折、手術の為入院
- (1/9) 蜂窩織炎の為、入院治療
- (1/26) 脱衣室で転倒、大腿骨頸部骨折、手術入院
- (2/9) カテーテル交換入院
- (3/23) 急性腸炎の為入院

服薬

(8/28) 退院後の服薬確認を怠り、服薬セット忘れる

(10/3) 薬ケースを確認したら、残薬が残っていた。

その他

(7/26) うがい薬を間違っ、アルコール消毒液を入れてしまう。

その他（建物改修、設備・備品購入等）

・なし

# はたらき・くらし応援センター こほく

就業・生活支援センター事業、働き・暮らし応援センター事業

## <事業報告>

登録者への就労・生活における相談支援を継続的に行っている。  
 障害者自立支援協議会生活の充実部会ステップアップ推進班においてイニシアティブを  
 発揮し、湖北圏域の就労支援の底上げの一翼を担っている。また就労選択支援プロジェ  
 クトのメンバーとなり、圏域における就労選択支援の円滑な開始に向け中心的な役割を  
 担っている。  
 相談支援の充実に向け（特に相談環境）事務所移転の調整・協議を行い4月1日より長  
 浜市南高田町323 - 12にて事業を継続することとなる。

登録者数	3/31 時点の登録者数				
	登録者数	身62	知386	精277	その他45
就業・生活支援センター（国・県）	770	就職者31		実習者26	
働き・暮らし応援センター（県・市）					

## 開所日、開所時間

計画のとおり実施

## 職員会議等

職員研修	外部研修・随時 ナカボツ必須研修・受講済	防災訓練	なし
職員会議	第一、第三水曜日 第二、第四水曜日 コアメンバー会議	健康診断 (職員)	7月3、7、8、17、29日

## アクシデント関連

交通事故等	その他
0	0

## その他（建物改修、設備・備品購入等）

・なし